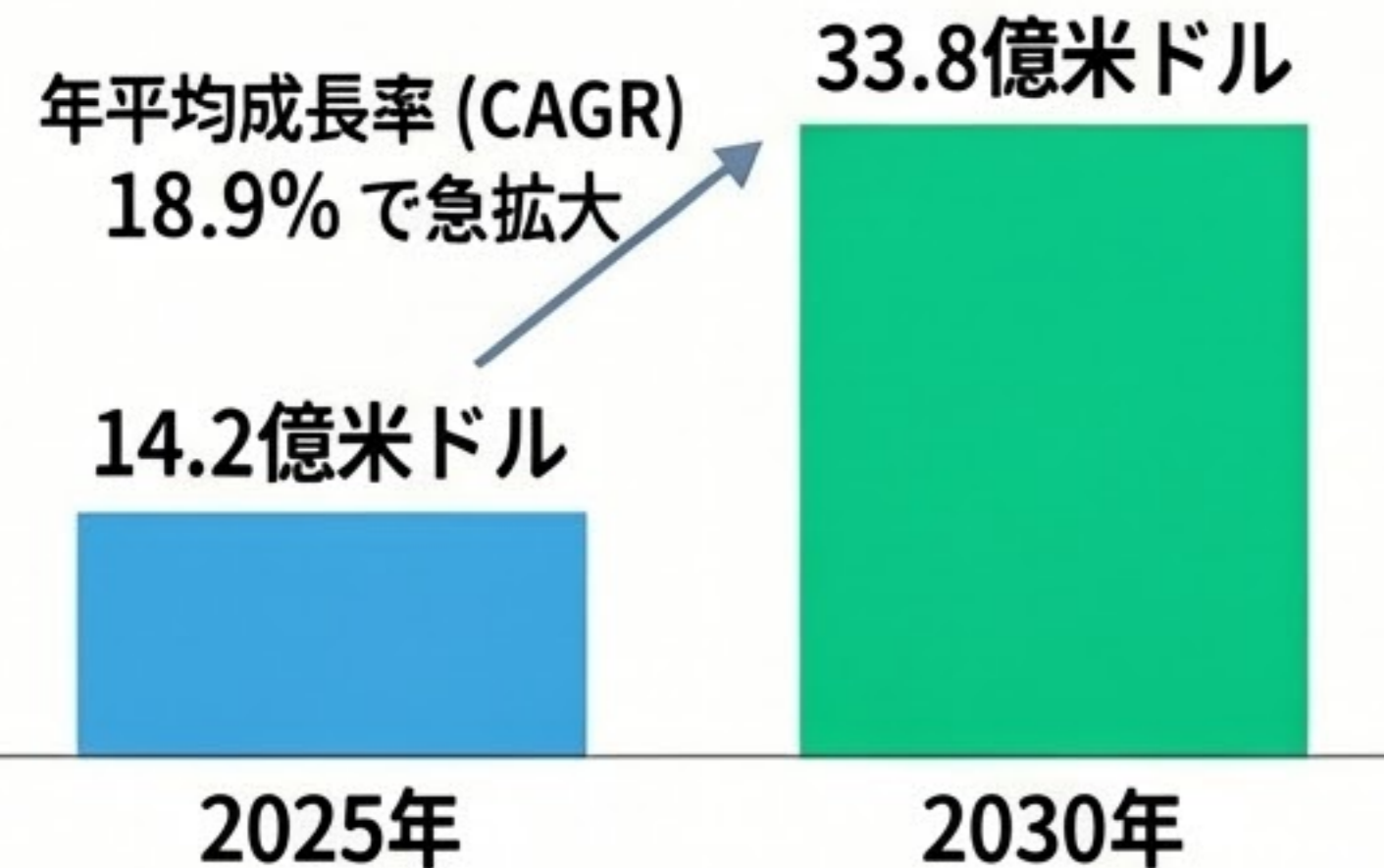


「ロボット部下」が変える現場の未来：RaaSと協働ロボットによる自動化の新常識

市場の成長と経済的インパクト

グローバル協働ロボット市集等のサイズ



日本市場も2033年には32億米ドル規模へ：EVシフトと中小企業への浸透が牽引

協働ロボットが選ばれる理由

- 安全柵不要・省スペース
- 設置の柔軟性が高い
- 投資回収が早い

RaaSモデル：所有から利用への財務的転換

従来の所有モデル (CapEx)

- 初期投資: 極めて高い (数千万~億円)
- 費用計上: 固定資産 (減価償却)
- 保守・修理: 自社手配 (別途費用)
- 柔軟性: 資産として固定化

RaaSモデル (OpEx) - 利用モデル

- 初期投資: 不要、または極めて低い
- 費用計上: オペレーティング費用 (経費)
- 保守・修理: 月額料金に包含 (常に最新)
- 柔軟性: 台数増減や変更柔軟

キャッシュフローが安定し、適用リスクを控操

多様な現場で活躍する「ロボット部下」

従来の所有モデル (CapEx)

物流現場の変革：AMRによるピッキングアシスト (Before / After)

Before



移動・探索・ピッキング

After



移動・探索 / ピッキング

人間が全部やる：歩行距離が長い、作業が非効率

ロボット部下が移動・探索、人間がピッキングに専念：歩行距離則減、作業均一化

小売：時給1,100円からの遠隔操作アパター



遠隔操作で重労働をロボットが、判断を人間が担う新しい雇用

バックオフィス：時給600円のデジタルワーカー



RPAを教育済み労働力として派遣、事務作業のハードル低下

政策支援と将来のマネジメント

最大1/2の導入補助金制度 (2026年版) & BCP (事業継続計画)
 カタログ登録製品を強力バックアップ、感染症・災害時の安定稼働で「守りの投資」

人間の役割は「作業者」から「オーケストレーター」へ
 ロボットの強みを理解し、適材適所に配置して指揮するマネジメントスキルが必須